

ニケア信条講話（3）

『天と地、見えると見えざる万物の造り主』

A. 【見えない世界の創造について】

神は最初、見えない世界を創造され、その後、6日の間に物質世界を創造されました。

・「初めに、神は天地を創造された。」（創世記1：1）

2節からは《地》の創造のことが説明されてゆき、「水の中に大空あれ」（6）、「神は大空を天と呼ばれた」（8）、「神は二つの大きな光る物と星を造り」（16）と大空、太陽、月、星が創造されており、最初の天と区別されています。この天は宇宙ではなく、天使たち・霊的存在者たちの世界、彼らがいる神の国を意味します。

・「天地創造の時からお前たちのために用意されている国を受け継ぎなさい。」
（マタイ25：34）

B. 【天使について】

①. 天使が存在することは旧約の中でも、イエス自身も教えています。

・「その時（大地を据えた時）、夜明けの星はこぞって喜び歌い、神の子らは皆、喜びの声をあげた。」（ヨブ38：7）

・「誰でも人々の前で自分をわたしの仲間であると言い表す者は、人の子も神の天使たちの前で、その人を自分の仲間であると言い表す。」（ルカ12：8）

・「その日、その時は、だれも知らない。天使たちも子も知らない。」
（マルコ13：32）

・「復活の時にはめとることも嫁ぐこともなく、天使のようになるのだ」
（マタイ22：30）

サドカイ派は「復活も天使も霊もない」（使徒23：8）と言っていますが、そのサドカイ派に対して、イエスは上の言葉を言いました。

・「神とキリスト・イエスと選ばれた天使たちとの前で、厳かに命じる」
（1テモテ5：21）

②. 神が天使たち・霊的存在者たちを創造されたこと。

・「万物は言によって成った。成ったもので、言葉によらずに成ったものは何一つなかった」（ヨハネ1：3）

・「天にあるものも地にあるものも、見えるものも見えないものも、王座も主権も、

支配も、権威も、万物は御子において造られたからです」(コロサイ 1 : 16)

天使は、ヘブライ語では「マルアク」と言い、この言葉は70人訳旧約聖書の中で「アンゲロス」というギリシャ語に訳されました。「マルアク」も「アンゲロス」も、「使者」「報知者」という意味です。「エンジェル」という英語は、このギリシャ語に由来しています。教会では「天使」の他に「天の使い」「神の使い」とも訳されています。それは天使の本質を表す言葉ではなく、天使の働き・役割を示すものといえます。すなわち、天使は、私たち人間を神へと導くために、神から遣わされた使者として活動します。

③. 天使の性質について。

- ・「天使たちは皆、奉仕する霊であって、救いを受け継ぐことになっている人々に仕えるために、遣わされたのではなかったのですか。」(ヘブライ 1 : 14)
- ・「天使たちは天でいつも私の天の父の御顔を仰いでいるのである。」
(マタイ 18 : 10)
- ・「御使いたちよ、主をたたえよ。主の語られる声を聞き、御言葉を成し遂げるものよ。…御もとに仕え、御旨を果たすものよ。」(詩篇 103 : 20~21)

④. 天使の数・その階級について。

- ・「多くの天使の声を聞いた。その数は万の数万倍、千の数千倍であった。」
(黙示録 5 : 11)

神学者ディオニシオス・アレオパギトは『聖書は、天的存在に関して9つの異なる名前を持っている(エフェソ 1 : 21、コロサイ 1 : 16、その他参照)。これらの存在は、それぞれ3つの階級を持つ、3つのグループに分かれている。…』と言っています。

(a) 《第一の階級》…「六翼のセラフィム」「多目のケルビム」
「至聖なる宝座に座する者(宝座)」

(b) 《第二の階級》…「主権」「権威」「勢力(能力)」

(c) 《第三の階級》…「支配(首領)」「天使長」「天使」

- ・「大天使ミカエルは、モーセの遺体のことで悪魔と言い争った時」(ユダ 9)
- ・「ペルシア王国の天使長が21日間私に抵抗したが、大天使長のひとりミカエルが助けに来てくれたので、」(ダニエル 10 : 13)
- ・「栄光に輝く主の御前に仕えている七人の天使の一人、ラファエルである。」
(トビト 12 : 15)

- ・「大天使の聲が聞こえて、神のラツパが鳴り響くと」（1テサロニケ4：16）
- ・「六カ月目に、天使ガブリエルは、ナザレというガリラヤの町に神から遣わされた。」（ルカ1：26）
- ・「エデンの園の東にケルビムと、きらめく剣の炎を置かれた。」（創世記3：24）
- ・「一對のケルビムは顔を贖いの座に向けて向かい合い、翼を広げてそれを覆う。」
（出エジプト25：20）
- ・「意匠家の描いたケルビムの模様の垂れ幕を作り、」（出エジプト26：31）
- ・「上の方にはセラフィムがいて、それぞれ六つの翼を持ち、二つをもって顔を覆い、二つをもって足を覆い、二つをもって飛びかっていた」（イザヤ6：2）

⑤. 天使の二つの働きについて。

（a）人間に対する働きについて。

◆神が世界や人間を支配する道具となって、間接的に神に仕えています。また、神は天使をこの世に遣わして、言葉を伝え、使命を行わせます。

- ・「御使いたちよ、主をたたえよ。主の語られる声を聞き、御言葉を成し遂げるものよ。…御もとに仕え、御旨を果たすものよ。」（詩篇103：20～21）
- ・「恐れるな。わたしは民全体に与えられる大きな喜びを告げる。」
（ルカ2：10）
- ・「わたしはガブリエル、神の前に立つ者。あなたに話しかけて、この喜ばしい知らせを伝えるために遣わされたのである。」（ルカ1：19）
- ・「夜中に主の天使が牢の戸を開け、彼らを外へ連れ出し…」（使徒5：19）
- ・「刈り入れる者は天使たちである。」（マタイ13：39）

◆更に天使は、神によって救われる人間に遣わされて人間を守ります。

- ・「主の使いはその周りに陣を敷き、主を畏れる人を守り助けてくださった。」
（詩篇34：8）
- ・「主はあなたのために、御使いに命じてあなたの道のどこにおいても守らせて下さる。彼らはあなたをその手に乗せて運び、足が石に当たらないように守る。」
（詩篇91：11～12）
- ・「小さい者を一人でも軽んじないように気をつけなさい。言っておくが彼らの天使たちは天でいつも私の天の父の御顔を仰いでいるのである。」
（マタイ18：10）
- ・「天使たちは皆、奉仕する霊であって、救いを受け継ぐことになっている人々に仕えるために、遣わされたのではなかったのですか。」（ヘブライ1：14）

これらの教えより、教会は神がクリスチャン各個人に『守護天使』を与えて下さ

るという教えを信じてきました。但しすべての人ではなく、キリストを信じる者に遣わされると言っています。「主を畏れる人を」（詩篇34：8）、「救いを受け継ぐことになっている人々」（ヘブライ1：14）。

故に、罪を犯して神から離れば、天使たちも去ると言われています。「『それはペトロを守る天使だろう』と言い出した。」（使徒12：15）のように弟子たちは考えていたのです。また、彼らは私たちを助けて、救いを全うさせるのが仕事のようなのです。

- ・「香の煙は、天使の手から、聖なる者たちの祈りと共に神の御前へ立ち上った。」（黙示録8：4）
- ・「貧しい人は死んで、天使たちによって宴席にいるアブラハムのすぐそばに連れていかれた。」（ルカ16：22）

私たちの祈りを、神の御前に持っていったり、我らの臨終の時にその魂を永遠の国に導いていってくれる者でもあって、われらにとって親しい者であることが分かります。

（b）神に対する働きについて。

さらに天使はそれだけではなく、もう一つ大きな役割を持っています。それは、神を絶え間なく讃美するということです。私たちが教会で、礼拝を行い、神を讃美し、祈っている時に、天使たちも共に聖なる歌を歌っています。逆にいえば、私たちは、天使に見習って礼拝を行っているのです。

- ・「この天使に天の大軍が加わり、神を賛美していった。『いと高きところには栄光、神にあれ。地には平和、御心に適う人にあれ。』（ルカ2：13）
- ・「彼らは互いに呼び交わし、唱えた。『聖なる、聖なる、聖なる万軍の主。主の栄光は、地をすべて覆う。』（イザヤ6：3）

⑥. 【天使について】（7世紀のダマスコのヨハネ）

『神は、天使の創造者、造成者である。神は、天使を無から存在へと引き出し、自分の像（イメージ）に従って彼らを創造された。…

天使は、知的存在者である。彼らは絶え間なく働き、自由意志をもって神に仕え、恩寵によって不死の本質が備えられている。…

天使の本質は、理性的で知的である。彼らの意志は変化し、移り変わるものである。創造されたすべては、変化するものである。創造されないもののみが変化しない。…理性的で知的なものは、自由意志をもっている。

天使は、創造されたものであるから、変化するもので、永続することも、また善

の内を進むことも、もしくは悪に向かってしまうこともできる力をもっている。
(悪魔は墮落した天使である)。

天使には、悔い改めが許されない。なぜなら、天使は形無き者であるからである。人間が悔い改めるのは、その肉体に弱さを負っているからである。天使は、本質によってではなく、恩寵によって不死の者である。始まりを持つ者は、すべて、本質として終わりを迎える。しかし、神のみは永遠であり、むしろ永遠以上のものである。時の創造者である神は、時の支配下にあるのではなく時を超越している。…

天使は限定されたものである。彼らが天にいる時、地上にはいない。彼らが、神によって地上へと送られた時、天に居残ることはない。しかし、彼らは、壁や戸や門や封印によって包囲されることはない。

彼らは、(そのような) 制限を受けないからである。彼らは、真実に無制限なのではない。神がそう望むふさわしい人間に、見ることのできる形をもって、天使は、自分自身を顕す。…

さらに天使は、その本質としてではなく、聖なる恩寵によって聖霊から聖成を受ける。

天使は、不死であるために結婚する必要がない。…

彼らは、神の意志を喜んで成就する能力をもっている。彼らの本質には、そのような迅速さが与えられている。神の閃光が命じる所へはどこへでも、まっすぐに到達する。…

天使はその能力に従って、神を仰ぎ見ている。これが、彼らの食べ物である。天使は、主宰である神の命令によって、異なる姿を取る。そして人間に現れ、人々に神の神秘を解明する。

天使は天を住みかとし、神への讃美を歌い、神の意志を運び出すという一つの義務をもっている。…』